

Silicon Graphics 320™
および Silicon Graphics 540™
Visual Workstation
ソフトウェアインストールガイド

ドキュメント番号 007-3703-002JPN

制作スタッフ

執筆 : Sandra Rude

制作 : Åse Bailey

エンジニアリング : Hiep Nguyen, Shailesh Nalawadi,

Mark Fleisher, Dan Gilson, Simon Zarrin, Ken Klingman, Ray Poquiz

© Copyright 1999, Silicon Graphics, Inc.— All Rights Reserved

このマニュアルの内容は、Silicon Graphics, Inc. の書面による許可なくして、いかなる形式によってもその一部または全部をコピーまたは複製することはできません。

Restricted Rights Legend

Use, duplication, or disclosure of the technical data contained in this document by the Government is subject to restrictions as set forth in subdivision (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 52.227-7013 and/or in similar or successor clauses in the FAR, or in the DOD or NASA FAR Supplement. Unpublished rights reserved under the Copyright Laws of the United States. Contractor/manufacturer is Silicon Graphics, Inc., 2011 N. Shoreline Blvd., Mountain View, CA 94039-7311.

Silicon Graphics, Inc. Mountain View, California

Silicon Graphics は、Silicon Graphics, Inc. の登録商標です。Silicon Graphics のロゴ、Silicon Graphics 320、および Silicon Graphics 540 は、Silicon Graphics, Inc. の登録商標です。CrystalWare は、Cirrus Logic, Inc. の登録商標です。Internet Explorer、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。

日本シリコングラフィックス株式会社 エンドユーザ契約書

提供されるソフトウェアをお使いになる前に、本書面をよくお読み下さい。本書面の条項にご同意頂けない場合には、このパッケージを開封せずに速やかにお求めの取扱店にご返却下さい。この場合、支払済の代金をご返金致します。ソフトウェア本体とソフトウェアマニュアル等関連資料（以下併せて、「本ソフトウェア」という）が入ったこのパッケージのシールを破ること又はソフトウェアをお使いになることによって、本書面の条項の拘束を受けることに同意したものと見做されます。本エンドユーザ契約は、お客様（以下「甲」という）と日本シリコングラフィックス株式会社（以下「日本 SGI」という）の間の有効な契約となります。

第1条 本ソフトウェアの使用権

日本 SGI は、本ソフトウェアを本ソフトウェアといっしょに供給したシリコングラフィックス社製のワークステーション又はサーバー台（以下「指定機械」という）に限り使用できるかつ非独占的な使用権を甲に付与します。第4条に記載されている場合を除き、甲は、いかなる場合にも、サブライセンス、頒布、リース、貸出、又はその他譲渡をすることはできません。甲は、いかなる場合であっても、本契約に明示的に記載されている範囲以外には、本ソフトウェアを使用することはできません。甲は、逆コンパイル、ディスアセンブリー、リバースエンジニアリングその他いかなる方法であるかを問わず、オブジェクトプログラムからソースプログラムの導出あるいは創作を試みないものとします。甲は、本ソフトウェアを含む文書、媒体、容器を処分する前に、本ソフトウェアをかかえる文書、媒体、容器から確実に消去するものとします。

第2条 複製に関する制限

甲は、指定機械のハードディスク又は CPU メモリに本ソフトウェアをインストールすることができます。甲は、本契約に基づき使用権を維持する為のバックアップ又は保存に必要な範囲で、本ソフトウェアの全体又は部分を複製することができます。但し、(i) かかる複製物は、すべて本契約の対象である本ソフトウェアと見做されるものとし、(ii) 甲は、かかる複製物の全てについて、本ソフトウェアに付されていると同様の原権利者の著作権その他の権利表示及び説明を付するものとし、ます。

第3条 本ソフトウェアの知的所有権

甲は、本ソフトウェア及びその複製物に関する知的財産権が、本契約で付与された使用権を除き、本契約に基づくライセンス付与又は本契約のその他の条項により甲に移転しないことに同意します。本ソフトウェア及びその複製物に関する著作権、特許権、商標権、又は、その他知的所有権は日本 SGI 又はその原権利者に留保されています。

第4条 本ソフトウェアの譲渡等

甲は日本 SGI の書面による事前の承諾なく、第三者に本ソフトウェアを譲渡し、貸与し、またはその他いかなる方法にても処分してはなりません。または、(i) 甲が、指定機械に関する所有権を第三者に譲渡し、(ii) 本契約により付与されたソフトウェアの権利が、指定機械の譲受人に全て譲渡され、(iii) 指定機械の新所有者が、本契約のすべての条項及び条件に書面で合意した場合には、本ソフトウェアを当該新所有者に譲渡することができます。

第5条 輸出規制

甲は、本ソフトウェア又はその直接的産物を米国及び日本国輸出管理規制、及びその他関係法規に違反し、引渡又は輸出してはなりません。

第6条 終了

本契約上の重要な義務の履行を甲が怠った場合、日本 SGI 又はその原権利者は、事前に通知することなく何時でも適切な救済手段を取り、又は本契約を解約して本契約を終了させることができるものとします。本ソフトウェアの原権利者は、本契約の受益者として、その知的財産権に関する本契約の条項を直接甲に強制する権利を保有するものとします。本契約が解約された場合、甲は、その後日以内に、本ソフトウェア（いかなる保管媒体に含まれているかを問わず、ソフトウェア及び全ての関連書類を含む）を全て廃棄するものとします。さらに甲は日本 SGI に権限のある者の署名または記名捺印のある廃棄証明書を交付するものとします。

第7条 保証の否認

日本 SGI は、本ソフトウェアに関しては、明示・黙示を問わず、いかなる種類の保証も行いません。本ソフトウェアは、甲に対し「現状」ベースで提供されます。尚、日本 SGI は、本ソフトウェアの運用上エラーが生じないこと又は本ソフトウェアの欠陥が修正されることを保証致しません。また、日本 SGI の従業員が甲に対して口頭又は書面でいかなる内容のことを告げたとしても、そのような形で新たな内容の保証が約束されることはありません。

第8条 責任の限定

日本 SGI 及び本ソフトウェアの原権利者は、いかなる場合も、甲に対し、一切の種類の特約、結果的、付属的又は間接的損害について（逸失利益、データの喪失、代替品の調達費用を含む）責任を負わないものとします。この責任の限定は、日本 SGI が、かかる損失が発生する可能性がある旨の通知を受けていたか否か、損害の原因が契約の違反又は否定、不法行為、保証違反、過失、ソフトウェアの使用不能その他いかなる態様により発生したものであるか否かを問わないものとします。

日本 SGI の責任は、いかなる場合も、本ソフトウェアの対価額を上限とします。

第9条 準拠法及び裁判管轄

本契約は日本法に準拠するものとします。本契約に関する紛争は東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とします。

第10条 U. S. GOVERNMENT USERS.

If the SOFTWARE is acquired by or on behalf of an entity of the government of the United States of America, the following provision applies: Pursuant to the policy stated at 48 CFR227.7202-1, U.S. Government users acknowledge that (i) the Software is commercial computer software provided solely with Restricted Rights, as such term is defined in the applicable FAR or FAR supplement, (ii) this Agreement embodies the licenses customarily used by SG for licenses in Software granted to the public, and (iii) the licenses set forth herein shall apply to all possession, use and duplication of the Software by the Government, except to the extent which such licenses are inconsistent with Federal procurement law.

Contractor/manufacturer is SILICON GRAPHICS, INC., 2011 N. Shoreline Blvd., Mountain View, CA 94043-1389.

第 11 条 完全合意

本契約は、その目的たる事項に関する合意の全体を構成するもので、口頭または文書による連絡、提案、協定に代替するものです。本契約の修正、変更及び終了は、日本 SGI がその権利を留保するものとします。

日本シリコングラフィックス株式会社

目次

| | |
|--|----|
| Silicon Graphics Visual Workstation について | 1 |
| 詳細情報 | 1 |
| テクニカルサポート | 2 |
| Windows NT の初めてのセットアップ | 5 |
| Silicon Graphics CD を使用する | 10 |
| システムソフトウェアの再インストール | 12 |
| はじめに | 14 |
| Windows NT の再インストール | 15 |
| ドライバと補助アプリケーションの再インストール | 22 |
| オプションアプリケーションの再インストール | 23 |
| その他のデータとアプリケーションのリストア | 24 |
| サービスパックのインストール | 25 |
| システムディスクのパーティションを変更する | 26 |
| グラフィックスメモリの設定 | 30 |
| システムプロパティのコントロールパネルを使用する | 33 |
| スタートメニューを使用した Silicon Graphics の情報の表示 | 35 |
| システムファームウェアオプションの設定 | 36 |
| Startup Settings | 39 |
| System Settings | 44 |
| 索引 | 51 |

Silicon Graphics Visual Workstation について

Silicon Graphics 320 または Silicon Graphics 540 Visual Workstation に付属している『Installation Poster』（取付説明書）は、接続の手順を説明しています。『オーナーズガイド』は、Visual Workstation の起動とシャットダウン、ハードウェアの追加または交換の方法について説明しています。

このマニュアルでは、Windows NT と Silicon Graphics のシステムソフトウェアを初めて設定する場合と、後に再インストールする場合の手順について説明します。Windows NT および Silicon Graphics のシステムソフトウェアをインストール、再インストール、またはアップグレードする際は、主にこのマニュアルを参照してください。

詳細情報

Windows NT の基本情報については、『ファーストステップガイド』の第 1 部を参照してください。これは、Visual Workstation に付属している Microsoft Windows NT Workstation のマニュアルです。

テクニカルサポート

Silicon Graphics は、広範囲にわたるサポートサービスを提供しています。標準とオプションのサポート保証契約サービスには、オペレーティングシステムのサポートパッケージ、オンサイトメンテナンス、および Supportfolio Visual Workstation が含まれます。これは、よく寄せられる質問に対する回答や、テクニカルサポート情報を検索するためのオンラインツールです。さらに高度なサービスが必要な場合は、トレーニングコースやコンサルティングサービスをご利用いただくこともできます。

これらのサービスに関する詳細は、オンラインでご覧いただけます。アドレスは、<http://www.sgi.com/visual/support> です。

Supportfolio Visual Workstation は、Web を介して技術的な援助を提供します。<http://support.sgi.com/nt> でご覧いただけます。

本製品をご使用になる地域の Silicon Graphics カスタマサポートの連絡先については、次のリストを参照してください。

| 国名 | 電話番号 |
|------------|--------------------|
| アイルランド | 0870-60744744 |
| アメリカ | 800-800-4744 |
| アルゼンチン | +31 3465-97201 |
| イギリス(UK) | 0870-60744744 |
| イスラエル | 1-800-9203088 |
| イタリア | 1678-23183 |
| インド | +61 (0)2 6221 6524 |
| インドネシア | 001-803-011-2502 |
| オーストラリア | 1800-818-549 |
| オーストリア | 0800-201705 |
| オランダ | 030-669-6700 |
| カナダ | 800-800-4744 |
| ギリシャ | 00800-12-5137 |
| コロンビア | 980-15-4537 |
| スイス(ドイツ語) | 0800-804022 |
| スイス(フランス語) | 0800-804021 |
| スウェーデン | 08-4700090 |
| スペイン | 900-234432 |
| タイ | 001-800-12-0662980 |
| チリ | 1230-020-2327 |

| | |
|----------|------------------|
| デンマーク | 043-270428 |
| ドイツ | 0130 112 550 |
| ニュージーランド | 0800-4744-4357 |
| ノルウェー | 6711-4601 |
| フィンランド | 0-800-1-19629 |
| ブラジル | 0008140-550-3510 |
| フランス | 01-3488 8888 |
| ベネズエラ | 8001-2509 |
| ペルー | +31-3465-97201 |
| ベルギー | 02-6790052 |
| マレーシア | 1-800-80-3226 |
| メキシコ | 52-5-267-1370 |
| 韓国 | 82-2-222-7373 |
| 中国 | 10-800-120-0117 |
| 日本 | 0120 458 901 |
| 香港 | 852-27843136 |

上記以外の国については、お客様の Silicon Graphics 代理店にお問い合わせください。

Windows NT の初めてのセットアップ

セットアップを容易に行うために、次の情報を収集して各欄に記入してから、作業を始めてください。

Windows プロダクト ID: _____
氏名: _____
組織名: _____
コンピュータ名: _____
ドメイン名またはワークグループ名: _____
ネットワークプロトコル
(TCP/IP、NWLink または NetBEUI) _____

Windows プロダクト ID 番号は 20 桁の数字で、Microsoft のマニュアル『ファーストステップガイド』の表紙に印刷されています。Microsoft のマニュアルでは、プロダクト ID 番号は、「Certificate of Authenticity」番号と呼ばれることもあります。

Visual Workstation を TCP/IP ネットワークに接続する際に、DHCP を使用して IP アドレスの動的割り当てを行わない場合は、以下の追加情報が必要です。

IP アドレス: _____

サブネットマスク: _____

ネットワークのドメイン名: _____

DNS(ドメインネームシステム)
サーバの IP アドレス: _____

WINS (Windows インターネット
ネームサービス)サーバの
IP アドレス: _____

正確なコンピュータ名、ドメイン名、転送プロトコル、または IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

また、Windows NT の設定手順の最後には、システム修復ディスクを作成するために、空のフロッピーディスクを用意しておく必要があります。

初めて Visual Workstation の電源を入れると、Windows NT のセットアップウィザードが自動的に起動して、ご使用のネットワーク環境に合わせて Windows NT を設定するための手順が順番に表示されます。次の手順に従ってください。

1. Visual Workstation に接続されているモニタやドライブなどの外部周辺機器の電源をすべて入れます。
2. Visual Workstation の本体の電源を入れます。

一連の起動メッセージがモニタに表示されます。Windows NT のセットアップウィザードの起動画面が表示されて、情報を入力するよう要求されます。

3. セットアップウィザードの指示に従います。ユーザ固有またはサイト固有の情報やオプションの入力が必要なフィールド以外は、セットアップウィザードのデフォルト値を使用してください。

ハードディスクドライブにファイルがコピーされ、Windows NT サービスパックがインストールされる間、セットアップウィザードに進行状況を示すメッセージが表示されます。

4. [日付と時刻] 画面では、セットアップウィザードの指示に従います。

これらの画面で設定を終了したあと、インストール処理には数分かかります。その間、処理進行状況を知らせるバーなど、インストールが正常に続行されていることを示すインジケータは表示されませんが、異常で

はありません。この処理が行われている間はキーを押さずに、インストールが自動的に終了するまでお待ちください。

5. ハードディスクドライブにファイルがコピーされ、一時ファイルが削除されて、設定情報が保存されると、セットアップウィザードに進行状況を示すメッセージが表示されます。これらの処理には数分かかります。処理が終了すると、Visual Workstation が再起動されます。

6. ログインダイアログボックスから、Administrator としてログインします。デフォルトでは、Administrator アカウントのパスワードは必要ありません。

[Windows NT へようこそ] 画面が表示され、Internet Explorer がインストールされたあと、セットアップされます。この処理には数分かかります。

7. セットアップ処理が終了して、Windows NT のデスクトップが表示されたら、フロッピーディスクドライブ（通常は A:）に空のフロッピーディスクを挿入します。

8. [スタート] → [ファイル名を指定して実行] を選択します。[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスにコマンド **rdisk** を入力して、[OK] をクリックします。

9. [修復ディスクユーティリティ] ダイアログボックスで、[修復ディスクの作成] をクリックします。

10. 修復ディスクの作成が終了したら、ドライブからフロッピーディスクを取り出して適切なラベルを貼り、安全な場所に保管します。

修復ディスクには、ご使用のネットワーク環境に合わせてWindows NTをカスタマイズするための情報など、重要な Windows NT システムファイルの圧縮コピーがいくつか入っています。ハードディスクの内容が損傷した場合には、この修復ディスクを使用して、Visual Workstation のオペレーティングシステムを修復できます。

Visual Workstation にソフトウェアをインストールしたり、または設定を変更するたびに、システム修復ディスクを新しく作成してください。これによって、修復ディスクに最新の情報と設定を確実に保存しておくことができます。

Silicon Graphics CD を使用する

Silicon Graphics Visual Workstation CD セットは、システムソフトウェアを再インストールする際に必要となります。また、CD に入っているオプションのアプリケーションをインストールすることもできます。Windows NT およびシステムソフトウェアを初めてセットアップする際には、Silicon Graphics Visual Workstation CD セットは必要ありません。

メモ： Visual Workstation で使用できるシステムソフトウェアは、Silicon Graphics Visual Workstation CD セットにのみ含まれています。他のコンピュータベンダまたは Microsoft の Windows NT システムソフトウェアを Visual Workstation にインストールしても、正しく動作しません。Windows NT サービスパックや修正モジュールも、Silicon Graphics から入手する必要があります。

この CD セットには、次の CD が入っています。

- リカバリー CD 1 とリカバリー CD 2 には、Windows NT のシステムソフトウェア、Silicon Graphics のカスタムドライバなどの必須アプリケーションが入っています。システムソフトウェアを再インストールする場合は、これらの CD を使用してください。詳細については、12 ページの「システムソフトウェアの再インストール」を参照してください。

- **Visual Workstation** をエンタープライズ環境で使用する際に便利なオプションソフトウェア、インターネットツールおよび評価版のインターオペラビリティツールを含む CD。これらの CD からソフトウェアをインストールする方法については、23 ページの「オプションアプリケーションの再インストール」を参照してください。
- **Visual Explorations** には、インタラクティブな 3D システムツアー、3D グラフィックスのデモンストレーション、ビジュアルコンピューティングメディアギャラリー、およびインタラクティブな 3D グラフィックスチュートリアルが入っています。この CD からソフトウェアをインストールする方法については、23 ページの「オプションアプリケーションの再インストール」を参照してください。

システムソフトウェアの再インストール

次のような場合には Visual Workstation のオペレーティングシステムを他のシステムソフトウェアコンポーネントとともに再インストールしなければなりません。

- プロセッサを追加して、Visual Workstation をアップグレードする場合。シングルプロセッサからマルチプロセッサにアップグレードする場合は、システムソフトウェアを再インストールして、新しいプロセッサを認識できるようにする必要があります。ただし、Visual Workstation にすでに2つ以上プロセッサが取り付けられている場合は、別のプロセッサを追加しても、システムソフトウェアを再インストールする必要はありません。
- 損傷したシステムディスクを修復または再フォーマットする場合。Visual Workstation のシステムディスクに障害があるか、またはシステムファイルが破壊された場合は、システムソフトウェアの一部またはすべてを再インストールする必要があります。この手順によって、システムファイルを修復したり、システムディスクを完全に再フォーマットできます。

再インストール処理は、次の5つの手順からなります。

1. 14 ページの「はじめに」は、再インストールの準備について説明しています。
2. 15 ページの「Windows NT の再インストール」では、Windows NT オペレーティングシステムと Silicon Graphics のシステムソフトウェアをリカバリーCD 1 から再インストールする方法について説明しています。
3. 22 ページの「ドライバと補助アプリケーションの再インストール」は、リカバリーCD 2 からソフトウェアを再インストールする方法について説明しています。
4. 23 ページの「オプションアプリケーションの再インストール」は、オプションのツールとアプリケーションを含むCDからソフトウェアを再インストールする方法について説明しています。
5. 24 ページの「その他のデータとアプリケーションのリストア」は、バックアップからユーザデータやアプリケーションをリストアする方法について説明しています。

各手順を終了してから、次に進んでください。

メモ： Visual Workstation にプロセッサを追加した後で、システムソフトウェアをアップグレードする場合は、手順の4と5を省略してください。ただし、システムソフトウェアを完全に再インストールする場合には、手順の4と5の操作を必ず行ってください。

はじめに

再インストールを始める前に、次の作業を行ってください。

- アクセス可能なパーティションにあるすべてのファイルをバックアップします。
- Silicon Graphics Visual Workstation の CD を用意します。必要なソフトウェアコンポーネントすべてを再インストールするには、リカバリー CD 1 とリカバリー CD 2 が必要です。また、オプションツールを含む CD からソフトウェアを再インストールすることもできます。

メモ： 正しい CD を用意したことを確認してください。Silicon Graphics の CD を使用する必要があります。他のコンピュータベンダまたは Microsoft から入手した Windows NT のシステムソフトウェアは、Silicon Graphics の Visual Workstation 上では動作しません。

- ご使用のネットワーク環境に合わせて Window NT を設定するために必要な情報については、5 ページと 6 ページを参照してください。
- ディスクの障害やシステムファイルの破損により Windows NT を再インストールする際に、システムディスクを再フォーマットをせずに修復を試みる場合には、最新のシステム修復ディスクが必要になります (8 ページを参照)。

Windows NT の再インストール

Windows NT の再インストールは、次の 2 つの段階に分かれています。

- 第 1 段階では、テキストベースのインターフェイスを使用し、**Visual Workstation** に関するハードウェア情報を収集して、システムファイルをコピーします。第 1 段階の最後に、セットアップユーティリティの指示に従って、**Visual Workstation** を再起動します。その後、自動的に第 2 段階に進みます。
- 第 2 段階では、セットアップウィザードのグラフィカルユーザインターフェイスを使用してサイト固有の情報を収集し、ご使用のネットワーク環境に合わせて Windows NT をカスタマイズします。

Silicon Graphics では、セットアッププログラムによって表示されるデフォルト値を使用し、再インストール終了後に **Visual Workstation** を再起動して、システム修復ディスクを作成することをおすすめします。

Windows NT をアップグレードまたは再インストールするには、次の手順に従ってください。

1. **Visual Workstation** を起動します。
2. 最初の起動メッセージがモニタに表示されてから 2、3 秒以内に、**< Esc >** キーを押します（進行状況を示すバーによって経過時間がわかります）。システムファームウェアによってメイン画面が表示されます。

Silicon Graphics 320

Visual Workstation

W E L C O M E



Start System



Install System Software



Startup Settings



Run System Utilities



System Settings



Hardware Inventory

3. [Install System Software] ボタンをクリックします。セットアップユーティリティが自動的に開始します。

4. プロンプトが表示されたら、リカバリー CD 1 を CD-ROM ドライブに挿入し、[Continue] ボタンを押します。
5. ダイアログボックスが表示され、システムローダーファイルをインストールするディスクパーティションを指定するよう求められます。ディスクのリストボックスにある矢印キーを使って、ディスクを選択し、パーティションのリストボックスにある矢印キーを使って、パーティションを選択します。

指定したディスクパーティションは、この時点で既にシステムに存在している必要はありませんが、存在しない場合には、手順 14 でそのディスクパーティションを作成する必要があります。

Visual Workstation のディスクパーティションに関する詳細情報については、26 ページの「システムディスクのパーティションを変更する」を参照してください。

6. [Accept] ボタンをクリックして、処理を続行します。Windows NT のセットアッププログラムが開始します。
7. 大容量記憶装置の画面には、セットアップ中にインストールされる大容量記憶装置のリストが表示されます。通常、CD-ROM ドライブだけがリストされます。IDE ドライブは自動的に検出されます。

< Enter >キーを押して、処理を続行します。インストールのためのファイルがいくつかロードされます。この処理には数分かかります。

8. [セットアップへようこそ] 画面では、既存の Windows NT のインストールを修復するか、または Windows NT を再インストールするかを決めます。
- システム修復ディスクの情報を使用して Windows NT を修復する場合は、< R >キーを押します。セットアッププログラムの指示に従って、Visual Workstation を再起動してください。
 - Windows NT を再インストールする場合は、< Enter >キーを押します。その後、手順の 10 から 20 を実行してください。
9. 大容量記憶装置の画面には、ファームウェアによって検出された大容量記憶装置がリストされます。< Enter >キーを押して処理を続行します。
10. ライセンス契約書の画面では、エンドユーザのライセンス契約書をお読みください。画面の下方向へスクロールするには、< Page Down >キーを押します。ライセンス契約書に同意する場合は、< F8 >キーを押します。
11. セットアップ中に Windows NT のコピーが検出された場合には、その既存のコピーをアップグレードするか、または新規コピーをインストールするかを選択するように求められます。
- Visual Workstation にプロセッサを追加してから Windows NT を再インストールする場合は、< Enter >キーを押して、その既存コピーをアップグレードします。セットアッププログラムで表示され

る指示に従って操作を行い、再起動を求めるプロンプトが表示されたら、**Visual Workstation** を再起動します。

- **Windows NT** 新規コピーを再インストールする場合は、
〈N〉キーを押して、操作を続けます。
12. ハードウェアコンポーネントの画面には、**Visual Workstation** のハードウェアコンポーネントがリストで表示されます。〈Enter〉キーを押して、操作を続けてください。
 13. パーティションの確認の画面には、システムディスク上の既存のパーティションが表示されます。〈Enter〉キーを押して、操作を続けてください。
 14. パーティションの再フォーマットの画面には、システムディスク上のパーティションを再フォーマットするためのオプションが表示されます。
 - **Visual Workstation** にプロセッサを追加してから、システムソフトウェアを再インストールする場合は、既存のパーティションをそのまま残してください。〈Enter〉キーを押して、操作を続けてください。
 - システムディスクを再フォーマットする場合は、この画面を使用し、26 ページの「システムディスクのパーティションを変更する」の中で推奨されているパーティション規則に従って、パーティションを再フォーマットしてください。

パーティションを作成する際には、次の事項にご注意ください。

- ディスクパーティションは、作成された順番に番号が付されます (パーティション 1 はディスク上に最初に作成されたパーティションで、パーティション 2 は同じディスク上に 2 番目に作成されたものです)。
 - パーティションが存在しない場合には、手順 5 でシステムローダーパーティションとして指定したパーティションを作成する必要があります。このパーティションは、サイズが最低 20 MB で、FAT ファイルシステムを使ってフォーマットされている必要があります。
 - パーティションは作成の際にフォーマットされます。セットアッププログラムで認められている最大サイズは 4095 MB です。
 - NTFS ファイルシステムのフォーマットが指定されたパーティションは、フォーマット後、セットアッププログラムでは FAT のパーティションとして表示されますが、インストールを続行すると、後で NTFS に変換されます。
15. 必要なパーティションをすべて作成したら、上下の矢印キーを使って、オペレーティングシステムファイルをインストールするディスクパーティションを選択し、< Enter > キーを押します。

16. システムフォルダの画面には、WindowsNT のインストール先ディレクトリがリストで表示されます。デフォルト値は \WINNT です。
＜Enter＞キーを押して、操作を続けてください。
17. ハードディスクの破損確認の画面では、システムディスクのチェックを行うかどうかを選択します。＜Enter＞キーを押して、ディスクチェックを実行してください。この処理には、システムディスクのサイズによっては、数分かかることがあります。
18. セットアップでは、CD からシステムディスクにファイルがコピーされます。コピー操作の実行中は、決してキーを押さず、インストールのこの段階が終了するまで待ってください。
19. ＜Enter＞キーを押して、Visual Workstation を再起動します。Visual Workstation が再起動すると、セットアップウィザードが自動的に起動して、情報の入力を要求するプロンプトが続けて表示されます。

この手順は、初期設定手順に似ています (5 ページの「Windows NT の初めてのセットアップ」を参照してください)。

セットアップウィザードの指示に従います。ユーザ固有またはサイト固有の情報やオプションの入力を要求されるフィールド以外は、セットアップウィザードによって表示されるデフォルト値を使用してください。

20. セットアップウィザードでは、システムソフトウェアがカスタマイズされて、ファイルがコピーされます。インストールが完了したら、ドライブからフロッピーディスクまたは CD を取り出し、[再起動] ボタンをクリックして Visual Workstation を再起動します。

ドライバと補助アプリケーションの再インストール

この手順では、Visual Workstation を正しく操作するために必要なドライバ、アプリケーションおよびオンラインマニュアルを再インストールします。

1. Visual Workstation に、Administrator アカウントでログインします。
2. CD-ROM ドライブにリカバリーCD 2 を挿入します。CD のセットアップユーティリティが自動的に起動します。
3. 画面の指示に従います。インストール手順の最後で、Visual Workstation を再起動するよう指示されます。CD-ROM ドライブにリカバリーCD 2 を入れたまま、Visual Workstation を再起動してください。
4. ログインダイアログボックスから、Administrator としてログインします。

5. [スタート] → [ファイル名を指定して実行] を選択します。[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスに **E:\yamaha\disk1\setup.exe** と入力します (CD-ROM ドライブが「E」に設定されている場合)。
6. Yamaha Synthesizer のインストール中に表示されるデフォルト値をすべて使用します。
7. インストールの最後に、Visual Workstation を再起動するよう要求されます。Yamaha Synthesizer のインストールを有効にし、正しく初期化するためにはシステムを再起動する必要があります。CD-ROM ドライブからリカバリー CD 2 を取り出して、[再起動する] ボタンをクリックします。

オプションアプリケーションの再インストール

オプションのツールおよびアプリケーションを含む CD から、オプションのコンポーネントを以前にインストールしていた場合には、それらをここで再インストールします。

1. 使用している Visual Workstation に、Administrator アカウントでログインします。

2. CD-ROM ドライブに該当する CD を挿入します。CD のインストールプログラムが自動的に起動します。
3. メイン画面で、インストールしたいオプションのコンポーネントを示すボタンをクリックし、セットアップウィザードによるソフトウェアのインストール指示に従ってください。
4. Visual Workstaion を再起動するよう指示されたら、CD-ROM ドライブから CD を取り出して、[再起動] ボタンをクリックします。再起動することによって、新しいソフトウェアが初期化されます。

その他のデータとアプリケーションのリストア

Silicon Graphics Visual Workstation CD からすべてのシステムソフトウェアとアプリケーションを再インストールした後、最初に作成したバックアップからユーザデータをリストアします。また、他のユーザアプリケーションを以前にインストールしていた場合は、この時点でそれらを再インストールします。

サービスパックのインストール

サービスパックには、Windows NT のシステムソフトウェアに対するパッチとアップデートが入っています。Visual Workstation の出荷時にインストールされているシステムソフトウェアには、このサービスパックが含まれます。周辺機器の増設などのハードウェア構成の変更を Visual Workstation に加える場合、または、アプリケーションやシステムサービスをインストールする場合は、サービスパックを再適用して、新しいハードウェア、ソフトウェア、システムサービスに対して最新のドライバとパッチをインストールする必要があります。

メモ： Microsoft または他のコンピュータベンダのサービスパック CD を使用することはできません。サービスパックは、Silicon Graphics のリカバリー CD 1 から再インストールしてください。

サービスパックを再インストールするには、次の手順に従ってください。

1. CD-ROM ドライブにリカバリー CD 1 を挿入します。
2. [スタート] → [ファイル名を指定して実行] を選択します。
3. [ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスに、**E:\sp4\i386\Update\Update.exe** と入力します (CD-ROM ドライブが **E** に設定されている場合)。[OK] をクリックします。
4. 指示に従って、サービスパックからパッチとドライバをインストールします。

システムディスクのパーティションを変更する

システムディスクは、出荷時にすでに2つのパーティションに分割されています。Visual Workstaion には、Windows NT を起動するのに、パーティションが2つ必要です。システムファームウェアは、FAT パーティションから起動ファイル (*arcldr.exe*) をロードします。その後、起動ファイルは、別のパーティションから残りのシステムファイルをロードします。システムファームウェアを再構成せずに、パーティションを変更したり、システムファイルを移動したりすると、Visual Workstation を正常に起動できなくなります。

Silicon Graphics では、Windows NT の設定時には、デフォルトパーティションを使用することをおすすめします。

ドライブのパーティションを変更することはできますが、いくつか制限事項があります。その内容は以下の通りです。

- 少なくとも2つのパーティションを作成する必要があります。
- 2番目のパーティションのサイズは少なくとも20MBで、FATファイルシステムを使用してフォーマットしなければなりません。

このパーティションには、起動ファイルが格納されています。システムファームウェアでは、FAT パーティションで起動ファイルは認識され実行されますが、NTFS パーティションでは起動ファイルは認識も実行もされません。

- 残りのパーティションは、必要に応じて任意のサイズにでき、FAT または NTFS のどちらかのファイルシステムを使用できます。

メモ： セットアッププログラムを使って、再フォーマットする場合は、パーティションの最大サイズは 4095 MB です。ディスクアドミニストレータを使って、再フォーマットする場合には、この制限は適用されません。

システムディスクのパーティションは、出荷時点で多少異なる場合がありますが、上記の内容は基本的な要件です。下記の表は、IDE ドライブから起動するシステムおよび SCSI ドライブから起動するシステムのパーティション要件を記載したものです。

| | IDE 起動ドライブ | SCSI 起動ドライブ |
|--------------------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| オペレーティング システムパーティション | IDE 0、Disk 0、 パーティション 1 | SCSI 2、Disk 0、 パーティション 1 |
| ファイルシステム | NTFS | NTFS |
| サイズ | 最大 4095 MB | 最大 4095 MB |
| システムローダー パーティション | IDE 0、Disk 0、 パーティション 2 | SCSI 2、Disk 0、 パーティション 2 |
| ファイルシステム | FAT | FAT |
| サイズ | 最小 20 MB | 最小 20 MB |
| Windows NT の ディレクトリロケーション | \WINNT | \WINNT |

注意： デフォルトで、Windows NT オペレーションシステムは起動ディスクの最初のパーティションに、システムローダーファイルは同じ起動ディスクの 2 番目のパーティションに格納されています。システムローダーファイルには、*hal.dll*、*arcldr.exe*、*arcsetup.exe* が含まれます。これらのファイルを別のパーティションに移動した場合は、それに応じてシステムファームウェアを構成する必要があります。変更が正しく行われないと、Visual Workstation は正常に起動しません。詳細については、39 ページの「Startup Settings」を参照してください。

グラフィックメモリの設定

グラフィックスを多用したゲームや、複雑なテクスチャのスクリーンセーバーなどのアプリケーションを使用する場合は、工場出荷時に設定されたメモリ量よりさらに多くのメモリ量をグラフィックスハードウェアに割り当てる必要があります。アプリケーションに必要なグラフィックメモリが不足していると、グラフィックスがカラーで表示されなかったり、テクスチャが正しく表示されなかったりする場合があります。

グラフィックスハードウェアに割り当てるシステムメモリの容量を増やすには、次の操作を行います。

1. [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] を選択します。
2. [コントロールパネル] で、[画面] アイコンをダブルクリックします。
3. [シリコングラフィックスの設定] タブをクリックします。
4. [グラフィックス設定とメモリ予約プロファイル] パネルにて、ご使用のグラフィックスアプリケーションに合ったメモリ設定のプリセット値をリストボックスから選択します。ウィンドウ下部にある [システムメモリ] パネルに選択した設定のメモリ割当が表示されます。
5. 新しいメモリ割当を使用するには、[OK] ボタンをクリックし、[プロパティ] ウィンドウを閉じます。次に、[表示プロパティ] ウィンドウの [OK] ボタンをクリックします。

- 再起動を求めるプロンプトが表示されたら、Visual Workstation を再起動します。

新しいグラフィックスメモリ割当を設定したアプリケーションを開始します。グラフィックスメモリがさらに必要な場合は、次の3つの操作を行って、カスタマイズされたグラフィックスメモリプロファイルを作成します。

- [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] を選択します。
- [コントロールパネル] の [画面] アイコンをダブルクリックします。
- [シリコングラフィックスの設定] タブをクリックします。
- [グラフィックス設定とメモリ予約プロファイル] パネルにて、ご使用のグラフィックスアプリケーションに一番近いメモリ設定のプリセット値をリストボックスから選択します。
- [コピー] ボタンをクリックし、選択したメモリ設定のコピーを作成します。[プロファイルをコピー] ダイアログボックスに、新しいメモリ設定の名前を入力し、[OK] ボタンをクリックします。
- [プロパティ] ボタンをクリックし、[プロパティ] ウィンドウを開きます。
- [グラフィックスメモリの割当] パネルを使って、グラフィックスハードウェア用の追加メモリを割り当てます。

追加メモリの割当は、次のいずれかの方法で行います。

- 上下の矢印キーを使って、リストボックスのプリセット値の1つを選択します。
- リストボックスに表示されているプリセット値をハイライトし、新しい値を上書きして入力します。

[グラフィックスメモリの割当] の値を調節すると、[システムメモリ] パネルに表示されているメモリ容量が変更されます。[グラフィックスハードウェアが使用可能な最大領域 (MB)] に表示される値が、指定可能な上限値です。この値は、使用可能なメモリ合計容量から 64 MB を差し引いた分のメモリ容量です (Windows NT では、システムソフトウェア用に 64 MB のメモリが予約されています)。

8. 新しいメモリ割当を使用するには、[OK] ボタンをクリックし、[プロパティ] ウィンドウを閉じます。次に、[表示プロパティ] ウィンドウの [OK] ボタンをクリックします。
9. 再起動を求めるプロンプトが表示されたら、**Visual Workstation** を再起動し、この新しいグラフィックスメモリ割当を使ってシステムを初期化します。

アプリケーションをもう一度開始します。必要であれば、グラフィックスメモリをさらに調節してください。

システムプロパティのコントロールパネルを使用する

[システム] コントロールパネルには、Visual Workstation に関する情報が表示されます。この情報は、Silicon Graphics からテクニカルサポートを受ける場合に必要です。

[スタート] → [設定] → [コントロール パネル] を選択します。次に [コントロール パネル] ウィンドウの [システム] アイコンをダブルクリックします。デスクトップの [マイ コンピュータ] アイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択しても、[システム] コントロールパネルを表示することができます。

[システム] コントロールパネルの [全般] タブには、使用している Windows NT のプロダクト ID 番号とともに、システムファームウェアと Windows NT のバージョン番号が表示されます。次の図は、このタブに表示される情報の例を示しています。

このマニュアルの 5 ページにある Windows プロダクト ID の欄に、使用しているシステムのプロダクト ID 番号を必ず記入してください。



[サポート情報] ボタンをクリックすると、Silicon Graphics のテクニカルサポートへの問い合わせ方法が表示されます。

スタートメニューを使用した Silicon Graphics の情報の表示

Windows NT のタスクバー上の [スタート] メニューを使って、ご使用の Visual Workstation に関する情報を表示できます。この情報を表示するには、[スタート] → [Silicon Graphics] を選択します。[Silicon Graphics] メニューでは、次のいずれかのオプションを選択できます。

- [ハードウェアの概要] では、ご使用の Visual Workstation のハードウェアと仕様に関する概要が表示されます。
- [オンラインブック] では、『オーナーズガイド』と『オーディオ/ビデオ ユーザーズガイド』の内容が表示されます。
- [サポート] では、Silicon Graphics のテクニカルサポートへの問い合わせ方法が表示されます。
- [リリースノート] では、ご使用の Visual Workstation のハードウェアまたはソフトウェアに適用されるリリースノートが表示されます。
- [ビジュアルデモ] では、Silicon Graphics Visual Workstation CD セットに含まれるサードパーティ製ソフトウェア、またはシステムディスクにインストールされたデモンストレーションソフトウェアを使用することができます。

システムファームウェアオプションの設定

システムファームウェアではグラフィカルユーザインターフェイスにより、システムオプションを設定することができます。

システムファームウェアのユーザインターフェイスを使用するには、次の手順に従ってください。

1. **Visual Workstation** を起動します。
2. 最初の起動メッセージがモニタに表示されてから 2、3 秒以内に < Esc > キーを押します（進行状況を示すバーによって経過時間がわかります）。システムファームによってメイン画面が表示されます。

Silicon Graphics 320

Visual Workstation

W E L C O M E



Start System



Install System Software



Startup Settings



Run System Utilities



System Settings



Hardware Inventory

メイン画面には、次のボタンがあります。

- [Start System] を選択すると、現在の設定を使用してワークステーションを起動します。
- [Startup Settings] を選択すると、起動設定オプションを参照、または変更するための画面が表示されます。使用可能なオプションについては、39 ページの「Startup Settings」を参照してください。
- [System Settings] を選択すると、システム設定を参照、または変更するための画面が表示されます。使用可能な設定については、44 ページの「System Settings」を参照してください。
- [Install System Software] を選択すると、CD からシステムソフトウェアをインストールできます。手順については、12 ページの「システムソフトウェアの再インストール」を参照してください。
- [Run System Utilities] を選択すると、システムファームウェアをアップグレードしたり、システムユーティリティを呼び出すための画面が表示されます。この画面は、上級ユーザだけを対象としています。
- [Hardware Inventory] を選択すると、ファームウェアによって検出される Visual Workstation のハードウェアコンポーネントすべてのリストが表示されます。[Up] および [Down] の各ボタンを使用すると、リストをスクロールできます。

Startup Settings

注意： この画面は、上級ユーザだけを対象としています。この画面で不適切な設定を行うと、Visual Workstation が正常に起動しなくなる可能性があります。

[Startup Settings] 画面には、2 つのメイン領域といくつかのコントロールボタンがあります。この画面の例は 40 ページに示してあります。

[Boot Selection] には、起動構成が表示されます。システムの出荷時には初期設定としていくつかの構成が保存されています。

上矢印および下矢印の各ボタンを使用して、表示または変更する構成を選択してください。



Startup Settings

Boot Selection

Windows NT Workstation 4.0

Windows NT Workstation 4.0 [VGA Mode]

↑

↓

Default

New

Copy

Delete

Load Identifier: Windows NT Workstation 4.0

OSLoader: [Redacted]

OSLoad Filename: [Redacted]

OSLoad Partition: [Redacted]

SystemPartition: [Redacted]

OSLoad Options: [Redacted]

Save & Exit

Cancel

IDE ドライブまたは SCSI ドライブからシステムを起動する場合、これらのフィールドに入力する値については、42 ページを参照してください。

選択した構成に関する次の情報が表示されます。

- [Load Identifier] テキストボックスには、選択した構成を説明するテキスト文字列を入力します。
- [OSLoader] テキストボックスには、現在の構成によって使用される起動ファイル (*arcldr.exe* および *hal.dll*) へのファイルシステムパスを入力します。
- [OSLoad Filename] テキストボックスには、オペレーティングシステムを含むディレクトリの名前を入力します。
- [OSLoad Partition] スクロールリストボックスには、システムファームウェアによって検出されたすべてのパーティションが表示されます。オペレーティングシステムのカーネルを含むパーティション (デフォルトでは、Partition 1) を選択してください。
- [System Partition] スクロールリストボックスには、システムファームウェアによって検出されたすべてのパーティションが表示されます。起動ファイル *arcldr.exe* および *hal.dll* を含むパーティション (デフォルトでは、Partition 2) を選択してください。
- [OSLoad Options] テキストボックスには、オペレーティングシステムに渡されるフラグを指定します。デフォルト値は、フラグなしです。

下記の表は、IDE ドライブから起動するシステムおよび SCSI ドライブから起動するシステムに適切な値を記載したものです。

| フィールド | IDE 起動ドライブ | SCSI 起動ドライブ |
|------------------|--------------------------------|------------------------------|
| OSLoader | \os\winnt40\ arldr.exe | \os\winnt40\ arldr.exe |
| OSLoad Filename | \WINNT | \WINNT |
| OSLoad Partition | IDE 0, Disk 0, パーティション 1 | SCSI 2, Disk 0, パーティション 1 |
| System Partition | IDE 0, Disk 0, パーティション 2 | SCSI 2, Disk 0, パーティション 2 |
| OSLoad Options | 通常の動作では、このフィールドは空白に しておきます。 | |

[Default] ボタンは、選択した構成をリストの一番上に移動します。リスト内の最初の構成は、Visual Workstation の起動時に使用されます。

[New] ボタンは、新しい構成を作成します。構成名とすべての値を指定する必要があります。

[Copy] ボタンは、選択した構成のコピーを作成します。新しい構成の名前入力し、必要に応じて値を変更してください。

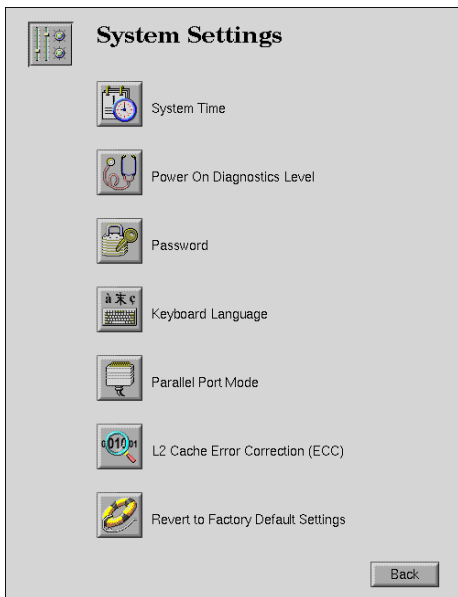
[Delete] ボタンは、選択した構成を削除します。

[Save & Exit] ボタンは、加えられたすべての変更を保存して、メイン画面に戻ります。

[Cancel] ボタンは、加えられたすべての変更を破棄して、メイン画面に戻ります。

System Settings

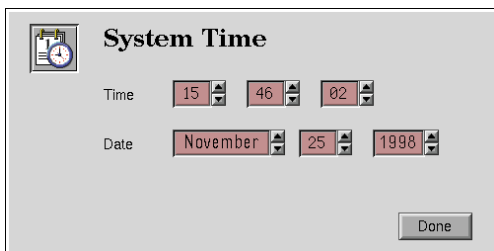
[System Settings] は、システムファームウェアのオプションを設定するために使用します。



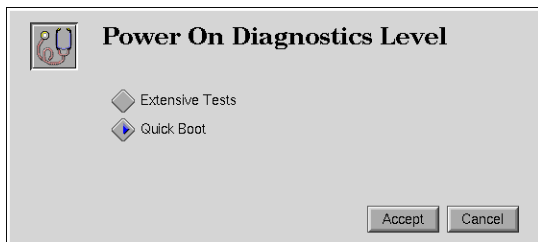
この画面には、次の7つのボタンがあります。

- [System Time] ボタンをクリックすると、システムクロックを設定する画面が表示されます。これは、Windows NT のコントロールパネルから [日付と時刻] を選択して時刻の設定をするのと同じです。

システムクロックの設定が必要となるのは、非常に特殊な状況に限られます。



- [Power On Diagnostics Level] ボタンをクリックすると、起動時に実行される電源投入時の自己診断テスト (POST) のレベルを指定する画面が表示されます。この画面には、[Extensive Tests] と [Quick Boot] (デフォルト) の2つのオプションがあります。



[Extensive Test] モードでは、起動シーケンスにおいて、[Quick Boot] モードで実行されるテストに加えて、メモリがテストされます。これにより、システムの起動時に、搭載されているメモリ 1MB につきおおよそ 0.1 秒かかります。

起動シーケンスが正常に終了しない場合には、システムは、[Quick Boot] モードから [Extensive Test] モードに自動的に切り替わります。この場合は、システムを手動で [Quick Boot] モードに戻す必要があります。

- [Password] ボタンをクリックすると、システムファームウェアに対するパスワード保護を設定する画面が表示されます。この画面では、次のオプションを使用できます。
 - [No Password] を選択すると、ファームウェアの設定変更およびシステム起動時のパスワード入力が不要になります。
 - [Password for PROM Setup] を選択すると、ファームウェアの設定変更に必要なパスワードになります。
 - [Password for PROM Setup and Boot] を選択すると、ファームウェアの設定変更およびシステム起動時にパスワード入力が必要になります。



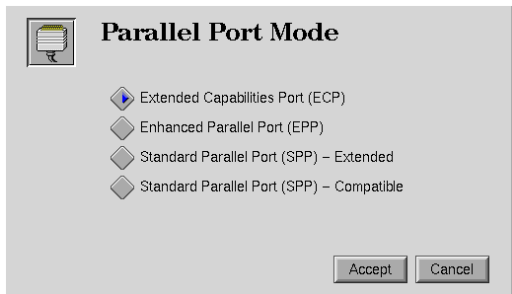
メモ： パスワードがすでに設定されている場合でも、パスワードジャンプを使用して新しいパスワードを指定することができます。詳細については、『オーナーズガイド』を参照してください。

- [Keyboard Language] ボタンをクリックすると、使用するキーボードの言語を指定する画面が表示されます。

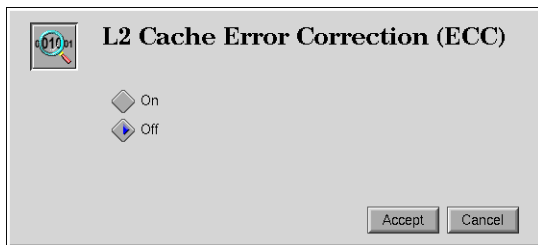


- メモ：** この設定は、Windows NT ではなく、システムファームウェアだけに適用されます。Windows NT からは、コントロールパネルの [キーボード] を選択して、キーボードの言語を変更できます ([スタート] → [設定] → [コントロール パネル] → [キーボード] を選択します)。

- [Parallel Port Mode] ボタンをクリックすると、ワークステーションの平行ポートで使用するモードを選択する画面が表示されます。[ECP] (デフォルト)、[EPP]、[SPP-Extended]、および [SPP-Compatible] の各モードを選択できます。接続するデバイスに特に指定がない場合は、ECP モードを使用します。



- [L2 Cache Error Correction] ボタンをクリックすると、L2 キャッシュメモリに対するエラー訂正をオンまたはオフ（デフォルト）に設定する画面が表示されます。L2 キャッシュエラー訂正をオフに設定した状態で Visual Workstation を動作させると、パフォーマンスが多少向上します。L2 キャッシュエラー訂正をオンにした状態で動作させると、安定性が向上します。



- [Restore Settings] ボタンをクリックすると、システム修復ディスクを使用して、[Startup Settings] の設定をシステム修復ディスクを作成したときの状態に戻すことができます。

索引

A

[Accept] ボタン 17
Administrator アカウント 8, 22, 23

C

[Cancel] ボタン 43
CD, リカバリー 10, 13–17, 22–23, 25
Certificate of Authenticity 5
[Continue] ボタン 17
[Copy] ボタン 43

D

[Default] ボタン 43
[Delete] ボタン 43
DHCP プロトコル
 DHCP 6
DNS 6
[Down] ボタン 38

H

[Hardware Inventory] ボタン 38

I

[Install System Software]
 ボタン 16, 38
IP アドレス 6

K

[Keyboard Language] 画面 48

L

[L2 Cache Error Correction] 画面 50

N

[New] ボタン 43

P

[Parallel Port Mode] 画面 49
[Password] 画面 47
[Power On Diagnostic Level] 画面 46

R

rdisk コマンド 8

[Restore Settings]ボタン 50
[Run System Utilities]ボタン 38

S

[Save & Exit]ボタン 43
[Start System]ボタン 38
[Startup Settings]画面 39
[Startup Settings]ボタン 38
[System Settings]画面 44
[System Settings]ボタン 38
[System Time]画面 45

T

TCP/IP 6

U

[Up]ボタン 38

V

Visual Explorations CD 11

W

Windows NT
サービスパック 25
セットアップウィザード 7

プロダクト ID 5, 33

Windows NT の
初めてのセットアップ 5
[Windows NT へようこそ]画面 8
WINS 6
WINS(Windows インターネット
ネームサービス) 6

あ

アドレス、IP 6

い

インストール
Windows NT 1
サービスパック 25
接続 1

お

オプションアプリケーション 23
オプション、ファームウェア 36
[オンラインブック] 35

か

画面
[Keyboard Language] 48

[L2 Cache Error Correction] 50
[Parallel Port Mode] 49
[Password] 47
[Power On Diagnostic Level] 46
[Startup Settings] 39
[System Settings] 44
[System Time] 45
[Windows NT へようこそ] 8
システムフォルダ 21
[セットアップへようこそ] 18
大容量記憶装置 17, 18
[地域設定] 7
パーティションの
 再フォーマット 19
ハードディスクの破損確認 21
[日付と時刻] 7
ライセンス契約 18

き

キーボード設定 48
起動モード 46

く

クロック、システム 45

け

言語、キーボード 48

こ

コマンド、rdisk 8
コントロールパネル、
 システムプロパティ 33

さ

サービスパック、インストール 25
再インストール
 システムソフトウェア 12
 オプションアプリケーション 23
 ドライバ 22
 必要なアプリケーション 22
[再起動]ボタン 24
サブネットマスク 6
サポート
 テクニカルサポート 2
[サポート情報]ボタン 34

し

システム

クロック 45

コントロールパネル 33

ディスク 26

ファームウェア 36

システム修復ディスク 6, 8, 14

システムソフトウェアの再インストール 12

システムディスクのパーティションの変更 26

システムファームウェア

メイン画面 15, 36

システムフォルダの画面 21

[修復ディスクユーティリティ]ダイアログボックス 8

診断レベル 46

す

[スタート]メニュー 35

せ

設定

電源投入診断レベル 46

[Password] 47

セットアップ、最初の 5

セットアップウィザード 7, 21

[セットアップへようこそ]画面 18

そ

ソフトウェア、再インストール 12

損傷したディスクの

再フォーマット 19

た

ダイアログボックス

[修復ディスクユーティリティ] 8

ディスクパーティション 17

ログイン 8, 22

大容量記憶装置の画面 17, 18

ち

[地域設定]画面 7

て

ディスク

再フォーマット 19

システム 26

システム修復 6, 8, 14

手順

- Silicon Graphics の情報の表示 35
- オプションアプリケーションの再インストール 23
- [オンラインブック]の表示 35
- サービスパックのインストール 25
- 最初のセットアップ 5
- システムソフトウェアの再インストール 12
- システムファームウェアオプションの構成 36
- ドライバの再インストール 22
- バージョン番号の確認 33
- [ハードウェアの概要]の表示 35
- 必要なアプリケーションの再インストール 22
- [リリースノート]の表示 35

と

- ドキュメンテーション、オンライン 35
- ドメイン名サービス 6

は

- バージョン番号 33
- パーティションの再フォーマットの画面 19

- [ハードウェアの概要] 35
- ハードディスクの破損確認の画面 21

ひ

- [日付と時刻]画面 7
- 表示

- Silicon Graphics の情報 35
- [オンラインブック] 35
- [ハードウェアの概要] 35
- [リリースノート] 35

ふ

- ファームウェア
- オプション 36
- システム 36
- プロセッサのアップグレード 12
- プロセッサの追加 12
- プロダクト ID 5, 33
- プロトコル
- DNS 6
- NetBEUI 5
- NWLink 5
- TCP/IP 5, 6
- WINS 6

ほ

ボタン

- [Accept] 17
- [Cancel] 43
- [Continue] 17
- [Copy] 43
- [Default] 43
- [Delete] 43
- [Down] 38
- [Hardware Inventory] 38
- [Install System Software] 16, 38
- [L2 Cache Error Correction] 50
- [New] 43
- [Parallel Port Mode] 49
- [Password] 47
- [Power On Diagnostic Level] 46
- [Restore Settings] 50
- [Run System Utilities] 38
- [Save & Exit] 43
- [Start System] 38
- [Startup Settings] 38
- [System Settings] 38
- [System Time] 45
- [Up] 38
- [再起動] 24
- [サポート情報] 34
- 矢印 39

も

モード、パラレルポート 49

や

矢印ボタン 39

ゆ

ユーザデータのリストア 24

ら

ライセンス契約の画面 18

り

リカバリーCD 10, 13-17, 22-23, 25

[リリースノート] 35

ろ

ログインダイアログボックス 8, 22